

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 自然体験学習推進経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	3	体験活動の充実
事務事業番号	003	事務事業コード 52213003 事業開始年度 平成 1 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	自然体験学習推進経費
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 児童生徒
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 児童生徒が動植物の観察等を行うことにより穏やかな心と、社会性・自主性を向上させることを目的とし、登別市の自然体験ができるネイチャーセンターで、自然体験プログラム(クラフト体験、鉱石さがし、たき火体験、熊笹茶体験など)の活用等による体験学習を行う。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 体験学習を通して、児童生徒の社会性・自主性を育てる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	体験学習実施回数(日帰り)	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3				
	体験学習実施回数(宿泊)	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	7				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	434	618	618	618	618	1,854
合 計				434	618	618	618	618	1,854
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	661	693			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		661	693			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？ 自然体験学習は、教室では学べない事柄に触 れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽 しさを実感させることができるため、市が事業 を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？ 炊事遠足などの野外活動、宿泊学習を通じ て、協調性を学ぶとともに、児童生徒間の連帯 感も増している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させるこ とができない理 由は何ですか？ 机上で学んだ知識を実際に使うことで、学ぶ ことの楽しさを実感できるように配慮する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？ 本事業の経費は、ネイチャーセンターへの移 動に要する経費であるため、削減は事業規模の 縮減に繋がり、児童生徒の自然体験の機会を狭 めることになる。

担当グループによる評価

維持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	体験学習を通して、児童生徒の社会性・自主性を育てるために必要な事業である。
----	----------------------------------	---------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）